



多文化共生社会とは、「国籍や民族の異なる人々が、互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていける社会」のことです。

日本で暮らす外国人の数は、令和元年末で293万人を超えていて、高知県にも4,900人余りの人が暮らしています。みなさんも職場やお住まいの地域など身近なところで、国籍や民族の異なる人々と接する機会が増加しているのではないのでしょうか。まず、日本で生活している外国人の出身地の文化や習慣の違いを「知る」ことから始めてみましょう。「ちがいを」認め合い、尊重し合う社会をみんなでつくっていくことが大切です。以前、香南市が行った「人権に関する市民意識調査」のなかで、「外国人の人権を守るために必要なこと」(複数回答)として、下記のような回答が多くなっています。

学校等での異文化に対する理解や尊重に向けた教育の充実 **47.4%**



多言語による生活情報提供の充実 **25.3%**



外国人の人権を守るための教育・啓発活動の推進 **25.5%**



外国人との交流促進 **38.0%**

フィリピン出身で農業技能実習生のジョーンズさんとアゴストさんの農業は大変だけれど楽しく、充実した毎日です。

香 南市の主な取り組み

- ・学校教育等で、国際理解を深める学習(外国語指導助手ALTの授業)
- ・高齢者生涯学習講座で、国際理解についての講座(R元年度実施)

お知らせ

香南ケーブルテレビで啓発番組を放送します。

「この街で暮らしたい」

●9月5日(土)12:00~、20:00~ ●9月6日(日)12:00~、20:00~

人権啓発番組



人権課 ☎57-8507
FAX56-0576

多文化共生

みんなのまち

9月9日は救急の日



早く救急車が来れば...

香南市消防本部 ☎55-4141

適切な救急車の利用にご協力ください

昨年度、香南市消防署の救急搬送人員件数は1638件で、前年度から100件以上増加し、過去最多となりました。救急搬送された方の内、約40%以上が軽症と診断され、その日のうちに帰宅となる方も多くみられます。

救急搬送人員件数に比例して、香南市に待機中の救急車が1台もない時間帯も増加しています。そのタイミングで本当に救急車が必要な方が発生したら...

「すぐに救急車が来てくれれば助かったはず」家族や関係者の方にそんな思いをしてもらいたくはありません。救急車の適正利用にご協力ください。

救急車を呼ぶほどでないが、どこかの病院を受診すればよいか分からない。という時は...

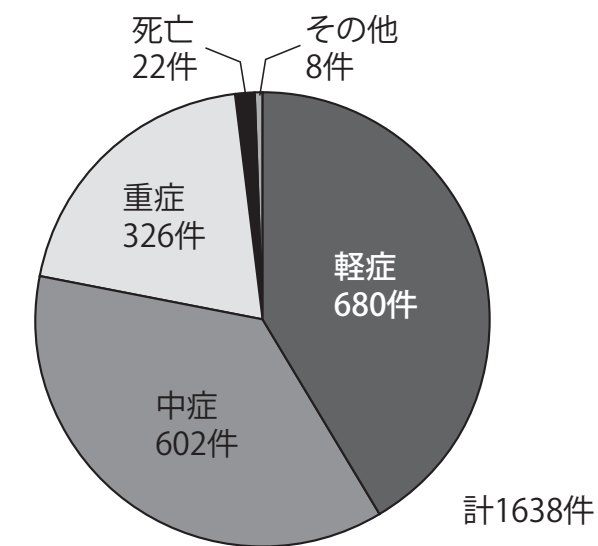
24時間 対応 **+** 救急医療情報センター 病院情報サービス ☎088-825-1299

こんな時には救急車

- ・顔色が悪く、冷や汗をかいている。
 - ・締め付けられるような胸の痛み、息苦しさ。
 - ・激しい頭痛と嘔吐。
 - ・身体の半分が動かない。呂律がまわらない。
- 救急車を呼ばれる方の中には、重症なのに我慢して119番通報が遅くなる方もおられます。こんな症状が突然出たらすぐに119番通報を。



【香南市の救急出動数(平成31年度)】



一番大事なことは予防です

食事や喫煙、生活習慣を見直し、脳卒中や心疾患のリスクを下げましょう。

3密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つ、手洗い、うがい、マスクの着用は新型コロナウイルスだけではなく、ほぼすべての感染症の予防に効果的です。

救急車を呼ぶような事態になる前に、健康管理に気を配りましょう。

